

設甲の1

設計書用紙

第 号

令和7年度

事業名

吉原国道線舗裝修繕工事 請負 設計書

課長	係長	設計	精算(副主務)		
----	----	----	---------	--	--

設甲の2

設計書用紙

工事名	吉原国道線舗装修繕工事		施工箇所	入善町 邑町 地内		
路線名等	吉原国道線		種別	補助(国・県)・町単		
工事概要	施工延長 $L = 475.50\text{m}$ 表層工 ($\text{AC}20\text{FA}$ 、 $t = 5\text{cm}$) 区画線工 ($W = 15\text{cm}$) その他		$L = 1675.05\text{m}^2$ $L = 720.0\text{m}$ 1.0式			
予定期						
予算科目						
設計金額 (請負工事) 消費税相当額含む						
内訳	補助事業分	円				
	単独事業分	円				

吉原国道線舗装修繕工事 特記仕様書

第1条 (一般)

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和6年10月」第1編共通編1-1-1-2第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 (現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間)

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間
 - ④ 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業が行われていない期間
- 2 前項の期間を確認する必要が生じた場合は、書面によるものとする。

第3条 (アスファルト混合物)

- 1 受注者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 受注者は、上記により難いときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第4条 (鉄筋コンクリート用棒鋼)

JIS 製品以外のものを使用する場合、ミルシートによる監督員の事前審査が必要のほか「JIS 製品と同等以上の品質を有するもの」の保証として、信頼できる試験機関が実施した引張試験及び曲げ試験により確認しなければならない。なお、この試験成績書が添付されていない製品を使用する場合は、信頼できる試験機関に引張試験及び曲げ試験を依頼し、JIS 製品と同等以上の品質を有することを確認のうえ使用しなければならない。

第5条 (コンクリート配合)

使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの 種類	使用目的

第6条 (生コンクリートの水セメント比)

コンクリートの水セメント比は、第5条 コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第7条 (安全管理)

工事期間中は安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視・点検・連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第8条 (安全教育・訓練の実施)

- (1) 労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。
- (2) 実施項目について、共通仕様書 1-1-5 施工計画書の記載事項として「(4)安全管理」に含め、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- (3) 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求が合った場合は直ちに提示しなければならない。

第9条 (産業廃棄物の適正処分)

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第10条 (施工機械)

1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械使用要領に基づき国土交通省（旧建設省）で指定された建設機械を使用するものとする。
なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等にみなすものとする。

機種	備考
<ul style="list-style-type: none">● バックホウ● トラクタショベル（車輪式）● ブルドーザー● 発動発電機（可搬式）● 空気圧縮機（可搬式）● 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 ：油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバースサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機● ローラ類 〔ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ〕● ラフテレーンクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5KW以上 260KW以下）を搭載した建設機械を対象とする。

2. 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書（共通仕様書 1-1-5 施工計画書(5)指定機械）の中で、①機種、②メーカー名、③型式、④台数等を記載するものとする。

また、「指定ラベル」が確認出来る工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用しない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

第11条 (建設発生土)

本工事から発生する残土については、指定処分とする。

第12条 (建設リサイクル法の対象建設工事)

- 1) 本工事は、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2) 請負者は、建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明

するものとする。

- ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
- ・新築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
- ・工事着手の時期及び工程の概要
- ・分別解体等の計画
- ・解体工事である場合は、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み

3) 本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	(1)仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(2)土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(3)基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(4)本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(5)本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(6)その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊(無筋)	—
コンクリート塊(有筋)	—
アスファルト塊	83.75m ³

コンクリート塊は、径30cm程度に破碎するものとする。

4) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）（平成14年6月）に定めた様式1[再生資源利用計画書（実施書）]及び様式2[再生資源利用促進計画書（実施書）]を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化した施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5) 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を監督員に提示するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第13条 (再生材の利用 (基礎碎石及び裏込材等))

次表の基礎碎石及び裏込材には再生碎石を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。

なお、再生碎石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ碎石（新材）に変更できるものとする。

工種	品質	使用箇所
舗装工	RC-40	下層路盤

第14条 (再生材の利用 (下層路盤材))

下層路盤材には再生砕石を使用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準(案)」に基づくものとする。ただし、修正CBRは30%以上とする。

なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ、新材に変更できるものとする。

第15条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

第16条 工事書類の簡素化の試行について

- (1) 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。
- (2) 試行は、工事書類の簡素化試行要領(案)(令和7年4月富山県土木部)に基づき実施するものとする。
- (3) これらに定められていない場合は監督員と協議するものとする。

第17条 週休2日工事 (発注者指定型 (現場閉所))

1. 本工事は、週単位の週休2日（土日完全週休2日の現場閉所）に取り組むこととする。
2. 工事の実施にあたっては、富山県『「週休2日工事」試行要領（令和7年8月 富山県土木部）』中「4.1 発注者指定型（現場閉所）の場合」に準拠するものとする。ただし、「【4.1.3 工事完成後】」は適用しない。

第18条 1日未満で完了する作業の積算

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」（以下、「1日未満積算基準」と言う。）は、変更積算のみに適応する。
- 2 受注者は、施工パッケージ型積算と実際の施工にかかった費用に乖離があった場合に、一日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。
- 3 同一作業員の作業が他工種の作業との組合せで1日以上の作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 4 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料として日報（施工内容・施工数量・作業時間を記入したもの）と実際の費用がわかる資料等を監督員に提出すること。実際の費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- 5 受注者の責によらず、交通等の制約により日々の作業量が制約される場合、別途考慮出来るものとする。

第19条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

吉原国道線舗装修繕工事

工種	規格	数量計算	単位	数量
道路改良				
構造物撤去工				
構造物取り壊し工				
舗装版切断				
舗装版切断	アスファルト	3.50*10.00=35.00	m	35
舗装版破碎				
舗装版破碎	アスファルト 10cm以下	構造物取壊し数量書より 1675.05	m2	1680
運搬処理工				
殻運搬				
殻運搬	アスファルト	1675.05*0.05=83.75	m3	84
舗装切断排水運搬費	2t	1.0	式	1
殻処分				
※処分費等※				
アスファルト廃材処理費;掘削	入善町上飯野地内	1675.05*0.05=83.75	m3	84
As舗装切断排水	富山市八尾町田中	1.0	m3	1
舗装				
舗装工				
舗装準備工				
不陸整正				
不陸整正	補足有り M30	数量計算書より 1675.05	m2	1680
アスファルト舗装工				
表層工				
表層工	密粒度AC20FA t=5cm	数量計算書より 1675.05	m2	1680
区画線工				
区画線工				
溶融式区画線				
区画線工(溶融式・手動)	外側線 W150	480.00	m	480
区画線工(溶融式・手動)	破線 W150	480.00/2=240.00	m	240

総括情報表

頁0-0001

事務所	0001 入善町役場
設計書名	実施設計書 当初
変更回数	0
適用単価	1 実施単価
適用単価地区	11 入善地区
単価適用年月日	0-07.09.15(0)
諸経費体系	1 公共
	当世代
前払率	40
諸経費工種	08 舗装
労務費補正	01 割増なし
電力区分	02 臨時低圧電力
施工地域区分	11 一般交通影響有り(2)
緊急工事区分	00 通常
契約保証区分	01 金錢的保証
現場環境改善費	00 計上しない
週休2日工事補正	26 週単位(R7~)
消費税率 (%)	10
	入善町

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
道路改良		1	式			Y1601 工種 第0001号表
舗装		1	式			Y1602 工種 第0003号表
直接工事費						
共通仮設費 (率分)			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
現場管理費計						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
工事原価					
一般管理費等					
工事価格		式			
消費税等相当額					
請負対象工事費		式			
工事価格計					
消費税等相当額計					
請負対象工事費計		式			

道路改良

Y1601

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0004

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工	1	式			Y260112 工種 第0002号表
** 単位当り **	1	式			

入 善 町

工種明細表

工種 第0002号表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y36011202
舗装版切断		式			Y4601120216
舗装版切断 アスファルト舗装版	35	m			SP4028 0 A=1, B=1, E=1 施工 第0-0001号表
舗装版破碎		式			Y4601120202
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し	1,680	m ²			SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1 施工 第0-0002号表
運搬処理工					Y36011217
殻運搬		式			Y4601121701
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)	84	m ³			SP2081 0 A=3, B=3, C=1, J=4 施工 第0-0003号表
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1	式			S5099 0 A=1, B=0.05, C=35, E=55 施工 第0-0004号表

工種明細表

工種 第0002号表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分		式			Y4601121703
アスファルト廃材処理費	84	m3		TAK90 0	
As舗装切断排水	1	m3		TAC02 0	
* * 単位当り * *	1	式			

工種明細表

工種 第0003号表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工	1	式			Y260202 工種 第0004号表
区画線工	1	式			Y260211 工種 第0005号表
仮設工	1	式			Y260207 工種 第0006号表
単位当り	1	式			

工種明細表

工種 第0004号表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装準備工					Y36020201
不陸整正		式			Y4602020101
不陸整正 補足材料 有り	1,680	m ²			SP4001 0 A=2, B=6, C=3 施工 第0-0005号表
アスファルト舗装工					Y36020203
表層(車道・路肩部)		式			Y4602020304
表層(車道・路肩部) 1層当たり平均仕上り厚50mm	1,680	m ²			SP4007 0 A=3, B=50, C=1, D=2, E=5, G=1, N=3 施工 第0-0006号表
** 単位当たり **	1	式			

区画線工

Y260211

工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0009

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工					Y36020601
溶融式区画線		式			Y4602060101
区画線工(溶融式・手動) 実線 15cm	480	m			SS002 0 A=1, B=1, C=1, G=1, J=1 施工 第0-0007号表
区画線工(溶融式・手動) 破線 15cm	240	m			SS002 0 A=1, B=2, C=1, G=1, J=1 施工 第0-0008号表
単位当り	1	式			

入 善 町

仮設工

Y260207

工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0010

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y36020725
交通誘導警備員		式			Y4602072501
交通誘導警備員	1	式			S7192 0 A=0, B=2, C=13 施工 第0-0009号表
単位当り	1	式			

入善町

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0001号表

[名 称] 舗装版切断 [規格 1] アスファルト舗装版 機械構成比 : 15.05% 労務構成比 : 58.43% 材料構成比 : 26.52%		[規格 2] 市場単価構成比 : 0.00%	1 m 当り 標準単価 : 700.44		
代表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ	10.24%		コンクリートカッタ		M2001
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	10.88%		土木一般世話役 東京単価		R2008
普通作業員	8.92%		普通作業員 東京単価		R2006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドブレード 径45cm	22.39%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径18インチ		T3670
ガソリン JIS2号レギュラ	2.81%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=1 アスファルト舗装版 全ての費用			B=1 15cm以下		

SP4027

施工内訳表

施工 第0-0002号表

[名 称] 舗装版破碎 [規格 1] アスファルト舗装版 機械構成比 : 12.85% 労務構成比 : 81.24% 材料構成比 : 5.91%				[規格 2] 障害等 無し 市場単価構成比 : 0.00%	標準単価 : 217.37	1 m2 当り
代表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
バックホウ賃料 クローラ型〔後方超小旋回型〕山積 0.45m ³ (12.85%		バックホウ(クローラ型) 東京単価〔後方超小旋回型〕 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		T7255	
土木一般世話役 一般施工	29.54%		土木一般世話役 東京単価		R2008	
特殊運転手	27.52%		運転手(特殊) 東京単価		R2002	
普通作業員	24.18%		普通作業員 東京単価		R2006	
軽油 (パトロール)	5.91%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策 不要 F=1 積込作業 有り			B=1 障害等 無し D=4 15cm以下 H=1 割引有り(バックホウ 後方超小旋回 山0.45m ³)			

SP2081

施工内訳表

施工 第0-0003号表

[名 称] 補運搬 [規格 1] 補装版破碎 機械構成比 : 44.05% 労務構成比 : 39.87% 材料構成比 : 16.08%		[規格 2] 機械積込(騒音対策不要, 補装版厚15cm以下) 市場単価構成比 : 0.00% 標準単価 : 2,923.5		1 m3 当り					
代表機	労材	規格	構成比	単価	代表機	労材	規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック			44.05%		ダンプトラック				M1450
一般運転手			39.87%		運転手(一般) 東京単価				R2015
軽油 (パトロール)			16.08%		軽油 東京単価 パトロール給油				T3002
積算単価					積算単価				EP001
A=3 C=1	補装版破碎 DID区間 無し				B=3 J=4	機械積込(騒音対策不要, 補装版厚15cm以下) 6.5km以下			

S5099

施工内訳表

施工 第0-0004号表

頁0-0014

SP4001

施工内訳表

施工 第0-0005号表

[名 称] 不陸整正 [規格 1] 補足材料 有り 機械構成比 : 16.98% 労務構成比 : 56.56% 材料構成比 : 26.46%		[規格 2] 市場単価構成比 : 0.00%	標準単価 : 221.77	1 m2 当り	
代表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ	13.60%		モータグレーダ		MHB601
ロードローラ 質量10~12t	1.70%		ロードローラ 東京単価 〔マカダム〕質量10t		T7300
タイヤローラ貨料 普通・排対型(2011年規制)質量13t	1.68%		タイヤローラ 東京単価 質量13~14t		T7388
特殊運転手	27.80%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
普通作業員	11.45%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	8.93%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	8.38%		土木一般世話役 東京単価		R2008
粒調碎石 M30	21.30%		再生クラッシャラン 東京単価 R C - 4 0		T4050
軽油 (パトロール)	5.16%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 補足材料 有り C=3 粒度調整碎石 M-30 E=1 割引有り(タイヤローラ 普通型 質量13~14t)			B=6 28mm以上34mm未満 D=1 割引有り(マカダムローラ 質量10t)		

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0006号表

[名 称] 表層(車道・路肩部)		[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格 2]	1 m2 当り				
機械構成比:	1.62%	労務構成比:	14.97%	材料構成比:	83.41%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,912.7
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考		
アスファルトフィニッシャ賃料 [ホイール型] 輸装幅1.4~3.0m		1.04%		アスファルトフィニッシャ 東京単価 [ホイール型] 輸装幅 1. 4 ~ 3 . 0 m			T7248		
振動ローラ賃料		0.21%		振動ローラ(輸装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t			T7284		
タイヤローラ賃料 3~4t		0.19%		タイヤローラ 東京単価 質量3~4t			T7389		
その他(機械)				その他(機械)			EK009		
普通作業員		5.11%		普通作業員 東京単価			R2006		
特殊運転手		3.49%		運転手(特殊) 東京単価			R2002		
特殊作業員		3.41%		特殊作業員 東京単価			R2005		
土木一般世話役 一般施工		1.24%		土木一般世話役 東京単価			R2008		
その他(労務)				その他(労務)			ER009		
アスファルト合材(100~200t未満)		76.32%		密粒度アスコン(20) 東京単価 平均仕上がり厚 50mm			T0069		
アスファルト乳剤 PK-3		6.78%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用			T3019		

SP4007

施工内訳表

施工 第0-0006号表

[名 称] 表層（車道・路肩部）		[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格 2]		1 m2 当り
機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97%		材料構成比： 83.41%		市場単価構成比： 0.00%		標準単価： 1,912.7
代表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
軽油 (パトロール)	0.28%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
その他(材料)			その他(材料)		EZ009	
積算単価			積算単価		EP001	
A=3 C=1 E=5 H=1 L=1	1.4m以上3.0m以下 密粒度アスファルト混合物 密粒度 AC 20FA 割引有り (アスファルトイニッシャ ホイル型 1.4~3.0m) 割引有り (タイヤローラ 普通型 質量3~4t)		B=50 D=2 G=1 J=1 N=3 1層当り平均仕上り厚 (mm) プライムコート PK-3 全ての費用 割引有り (振動ローラ 搭乗・コンバインド式 3~4t) その他 (100~200 t 未満)			

SS002

施工内訳表

施工 第0-0007号表

頁0-0018

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)					1000	m 当り
[規格 1] 実線 15cm						
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
区画線設置[溶融式][供用区間] 実線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL401	
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704	
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.00	kg			T3691	
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692	
軽油 (パトロール)		L			T3002	
諸雑費		%			#01	
合計	1,000	m				
単位当たり	1	m				
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準(昼間)			B=1 実線 D=1 時間的制約無し G=1 白色			
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外			

入 善 町

施工内訳表

施工 第0-0008号表

頁0-0019

[名称] 区画線工 (溶融式・手動)					1000	m 当り
[規格 1] 破線 15cm						
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
区画線設置[溶融式][供用区間] 破線15cm 時間制約無 昼間	1,000.00	m			TL413	
路面標示用塗料 白色 溶融型 JIS K5665 3種1号	570.00	kg			T3704	
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.00	kg			T3691	
プライマー 接着用	25.00	kg			T3692	
軽油 (パトロール)		L			T3002	
諸雑費		%			#01	
合計	1,000	m				
単位当たり	1	m				
A=1 全ての費用 C=1 15cm E=1 標準(昼間)			B=2 破線 D=1 時間的制約無し G=1 白色			
H=2 ペイント厚1.5mm J=1 供用区間			I=1 排水性舗装以外			

S7192

施工内訳表

施工 第0-0009号表

頁0-0020

機 労 材 集 計 表

頁0-0021

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
3	M1450	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
4	M2001	193			コンクリートカッタ	路盤舗装等損料
5	MHB601	193			モータグレーダ	路盤舗装等損料
6	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
7	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
8	R2006	12			普通作業員	普通作業員
9	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
10	R2015	19			一般運転手	一般運転手
11	R2053	37			交通誘導警備員 B	その他労務
12	T3002	66			軽油	軽油
13	T3004	65			ガソリン	ガソリン
14	T3019	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
15	T3670	198	0		ダイヤモンドブレード	消耗品費
16	T3691	61	18		ガラスビーズ	区画線材料
17	T3692	61	18		プライマー	区画線材料
18	T3704	901	410.4		路面標示用塗料 白色 溶融型	区画線工
19	T4050	53	67.2		粒調碎石	粒度調整碎石
20	T7248	44			アスファルトフィニッシャ賃料	建設機械賃料
21	T7255	44			バックホウ賃料	建設機械賃料
22	T7284	44			振動ローラ賃料	建設機械賃料
23	T7388	44			タイヤローラ賃料	建設機械賃料
24	T7389	44			タイヤローラ賃料	建設機械賃料
25	TAC02	189	1		As舗装切断排水	投棄料
26	TAK90	189	84		アスファルト廃材処理費	投棄料
27	TL401	200	480		区画線設置[溶融式][供用区間]	
28	TL413	200	240		区画線設置[溶融式][供用区間]	
29	WXXXX	966				
30	WXXXX	968				

平均幅員面積計算書

名 称：車道(右側)

測 点	距 離(m)	表層									摘要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m ²)							
No. 16	-	3.40	—	—							
No. 17	20.00	3.50	3.450	69.00							
No. 18	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 19	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 20	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 21	20.00	3.40	3.450	69.00							
No. 22	20.00	3.20	3.300	66.00							
No. 23	20.00	3.40	3.300	66.00							
No. 24	20.00	3.50	3.450	69.00							
No. 25	20.00	3.80	3.650	73.00							
No. 26	20.00	3.80	3.800	76.00							
NO. 26+7.50m	7.50	4.00	3.900	29.25							
小 計	207.50			727.25							
合 計	475.50			1,675.05							

平均幅員面積計算書

名 称 : As取壊し

測 点	距 離(m)	左側、舗装(5cm)									摘要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)				幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	
No. 16	-	3.40	—	—							
No. 17	20.00	3.50	3.450	69.00							
No. 18	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 19	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 20	20.00	3.50	3.500	70.00							
No. 21	20.00	3.40	3.450	69.00							
No. 22	20.00	3.20	3.300	66.00							
No. 23	20.00	3.40	3.300	66.00							
No. 24	20.00	3.50	3.450	69.00							
No. 25	20.00	3.80	3.650	73.00							
No. 26	20.00	3.80	3.800	76.00							
NO. 26+7.50m	7.50	4.00	3.900	29.25							
小 計	207.50			727.25						0.00	
合 計	475.50			1,675.05						0.00	